

地 理

地 理

第1問 地域調査と地理情報に関する次の問い(A・B)に答えよ。

A 次の図1は、神奈川県南東部の地形図である。これを見て、下の問い(問1～5)に答えよ。



(国土地理院発行による〔設問の関係で縮尺等は省略する〕。原寸，一部改変)

図 1

問1 図1について述べた次の文中の(ア)・(イ)にあてはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 1

この地形図では、標高 10 m ごとに(ア)が引かれていることから、この地形図の縮尺は(イ)であると判断できる。

	①	②	③	④
ア	計曲線	計曲線	主曲線	主曲線
イ	2 万 5 千分の 1	5 万分の 1	2 万 5 千分の 1	5 万分の 1

問2 図1について述べた次の文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。
2

この地形図中の西部にみられる「亀井野(一)」から「亀井野(四)」にかけての住宅地は①台地の上に広がっており，ここを南北に貫く②国道沿いには消防署がみられる。この南東側にみられる「四ッ塚」と「窪河内」の集落は③自然堤防上に立地しており，その東に広がる④沖積低地には水田が分布する。

問3 次の表1は、図1の西部にある藤沢市の人口の推移を示したものである。1990年から2015年にかけての藤沢市の人口の推移について述べた文として**適当でないもの**を、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

表 1

	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2010 年	2015 年
総人口(人)	350,330	368,651	379,185	396,014	409,657	423,894
1 世帯当たり世帯人員(人)	2.82	2.67	2.55	2.46	2.38	2.35
15 歳未満人口の割合(%)	17.6	15.1	14.2	14.1	13.8	13.6
昼夜間人口比率*(%)	94.6	93.8	94.8	94.9	93.2	93.2

*昼夜間人口比率は、夜間人口に占める昼間人口の割合。

(「平成 27 年国勢調査」により作成)

- ① 世帯総数は増加し続けている。
- ② 15 歳未満の人口は減少が止まり、増加に転じている。
- ③ 昼間人口よりも夜間人口のほうが多い。
- ④ 昼間人口は減少し続けている。

問4 図1中のXの池とその周辺の部分について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 水力発電を行うための水をたくわえる貯水池と、市民のレクリエーションのための公園である。
- ② 大規模な地震が発生した際の飲料水を確保する遊水地と、多くの人が避難できるようにつくられた避難所である。
- ③ 下流域の水害を防ぐためにつくられた調整池と、さらにあふれた水を貯留する遊水地機能をもたせた広場である。
- ④ 付近の農地に農業用水を供給するためのため池と、かつての水域を開発してつくった干拓地である。

問5 次の表2は、藤沢市のおもな品目別の農業産出額および全国における農業総産出額の品目別割合を示したものであり、表2中のカ～ケは、いも類、^{かき}花卉、米、野菜のいずれかである。カ・キに該当する品目の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

5

表 2

	藤沢市の農業産出額(推計) (千万円)	全国における農業総産出額 に占める品目別割合(%)
カ	258	25.6
畜産物	124	35.5
キ	63	3.7
果 実	40	9.3
ク	12	19.2
ケ	10	2.2

統計年次は2018年。

(農林水産省資料、『日本国勢図会 2020/21年版』により作成)

	①	②	③	④
カ	米	米	野 菜	野 菜
キ	いも類	花 卉	いも類	花 卉

B 地理情報に関する次の問い(問6・7)に答えよ。

問6 地理院地図を利用して地形断面図を作成した。次の図2中のサ～スは、下の図3中のP～Rのいずれかの線に沿った地形断面図を示したものである。サ～スとP～Rとの組合せとして最も適当なものを、あとの①～⑥のうちから一つ選べ。 6

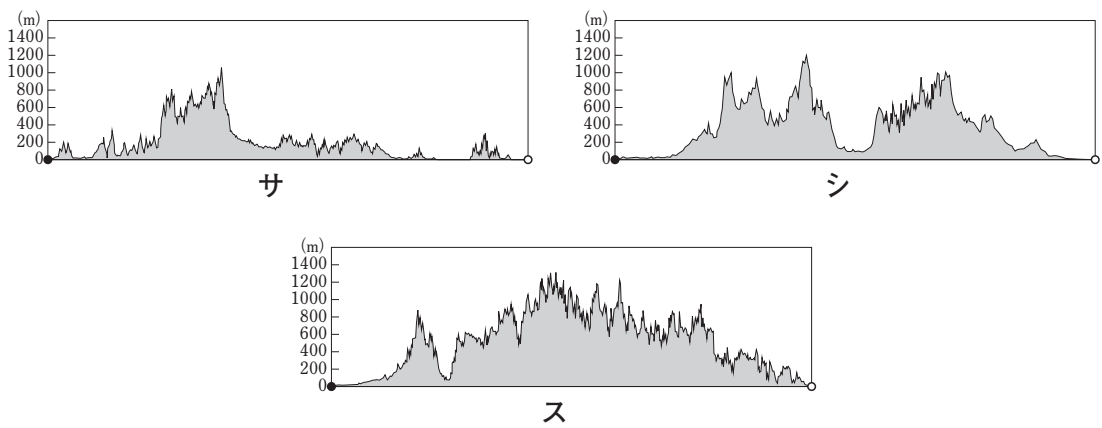


図2中の●と○は、図3中の●と○に対応している。

図 2

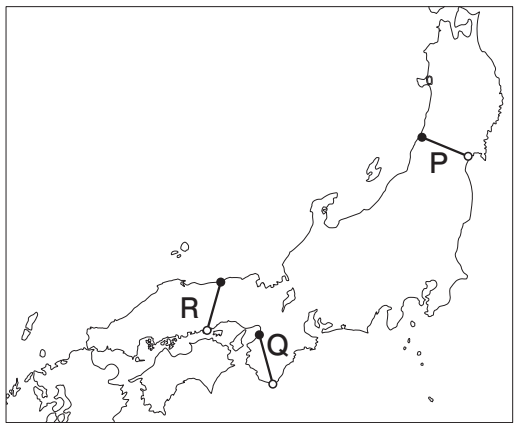


図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
サ	P	P	Q	Q	R	R
シ	Q	R	P	R	P	Q
ス	R	Q	R	P	Q	P

問7 次の表3は、東北新幹線(仙台以南)と上越新幹線の駅ごとの1日平均乗車人員を示したものである。この統計数値を表現する統計地図として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 7

表 3

東北新幹線（仙台以南）		上越新幹線	
	(人)		(人)
東 京	75,004	熊 谷	4,232
上 野	11,902	本庄早稲田	2,233
大 宮	29,679	高 崎	14,293
小 山	4,902	上毛高原	719
宇都宮	13,233	越後湯沢	2,845
那須塩原	3,371	浦 佐	672
新白河	2,135	長 岡	4,664
郡 山	9,024	燕三条	1,729
福 島	7,586	新 潟	9,232
白石蔵王	891		
仙 台	26,653		

統計年次は2019年度。

(JR 東日本資料により作成)

- ① 図形表現図 ② 等値線図 ③ ドットマップ ④ 流線図

第2問 農牧業に関する次の問い(問1～7)に答えよ。

問1 農作物の原産地について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① コーヒーの原産地は、東アフリカの高原地域であると考えられている。
- ② ジャガイモの原産地は、ヨーロッパの冷涼地域であると考えられている。
- ③ 小麦の原産地は、西アジアの半乾燥地域であると考えられている。
- ④ 天然ゴムの原産地は、南アメリカの熱帯地域であると考えられている。

問2 次の表1は、小麦の生産量・輸出量の世界上位7か国を示したものであり、表1中のA～Dは、インド、カナダ、フランス、ロシアのいずれかである。インドとカナダに該当するものの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

表 1

	生産量 (万トン)		輸出量 (万トン)
中 国	13,433	B	3,303
A	9,851	アメリカ合衆国	2,730
B	8,586	D	2,206
アメリカ合衆国	4,737	オーストラリア	2,199
C	3,692	ウクライナ	1,731
オーストラリア	3,182	C	1,523
D	2,998	アルゼンチン	1,310

統計年次は2017年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版』などにより作成)

	①	②	③	④
インド	A	A	B	B
カナダ	C	D	C	D

問3 下のア～ウの文は、次の図1中のP～Rのいずれかの地域における近年の農牧業について述べたものである。ア～ウとP～Rとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 10

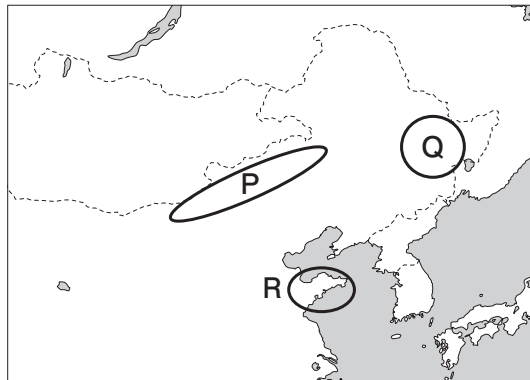


図 1

- ア 大規模な野菜生産が行われ、日本にも盛んに輸出されている。
 イ 雑穀栽培に加え、耐寒性品種の普及により米の一大生産地になった。
 ウ 広大な草原を利用した酪農が盛んになり、牛乳が中国各地に出荷されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	P	P	Q	Q	R	R
イ	Q	R	P	R	P	Q
ウ	R	Q	R	P	Q	P

問4 世界各地の農牧業と食文化について述べた文として下線部が適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① ナイジェリアでよく食べられているフフとよばれる団子状の主食は、地元で栽培されるキャッサバやヤムイモなどからつくられたものである。
 ② パキスタンでよく食べられているティッカとよばれる肉の串焼き料理は、地元で飼育される牛肉や羊肉を香辛料に漬け込んで焼いたものである。
 ③ ボリビアでよく食べられているフリカセとよばれる肉の煮込み料理は、地元で飼育されるヤクや水牛の肉を香辛料とともに煮込んでつくられたものである。
 ④ マダガスカルでよく食べられているロマザバとよばれる料理は、地元でよく食べられる米飯に牛肉や野菜の煮込みをかけて食べるものである。

問5 食料の安全性や農家の地位を向上させるためにさまざまな取り組みが行われている。次のカ・キの文中の下線部について、正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 12

カ 日本は、安全性に対する懸念があることから、飼料用や食品加工用も含めて遺伝子組み換え作物の輸入を全面的に禁止している。

キ 発展途上国の農産物を適正な価格で購入する、トレーサビリティとよばれる取り組みがみられる。

	①	②	③	④
カ	正	正	誤	誤
キ	正	誤	正	誤

問6 次の表2は、日本の都道府県別農業産出額の部門別割合を示したものであり、表2中の①～④は、千葉県、福井県、宮崎県、山形県のいずれかである。宮崎県に該当するものを、表2中の①～④のうちから一つ選べ。 13

表 2

(単位：%)

	米	野 菜	果 実	畜 産
①	33.7	19.0	28.6	14.6
②	17.1	36.3	3.7	30.2
③	64.9	18.5	2.1	9.8
④	5.2	19.5	3.8	64.4

その他があるため合計は100%にならない。統計年次は2018年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版』により作成)

問7 日本の農業とその変化について述べた文として下線部が適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

① 高度経済成長期を通して米の需要が変化したことにより、米の作付面積を制限した。

② GATT の農業交渉を通して、牛肉や果実などの農産物の輸入制限が緩和された。

③ 米の流通が自由化されると、競争が増すとともに米の価格は上昇した。

④ 国際競争力を高めるため、ブランド作物の育成や経営規模の拡大を推進している。

第3問 衣食住と消費・余暇活動に関する次の問い(問1～7)に答えよ。

問1 世界の民族衣装の中には、その土地の気候条件に合わせて着脱が容易な形態になっているものがみられる。着脱が容易な衣装の名称と、その土地の気候条件との組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

(気候条件)

ア 気温の年較差が小さく、一日を通して高温多湿な日も多い。

イ 気温の日較差が大きく、夜間の冷え込みが厳しい日も多い。

	①	②	③	④
名 称	サリー	サリー	ポンチョ	ポンチョ
気候条件	ア	イ	ア	イ

問2 次のカ～クの文は、イスラーム(イスラム教)、ヒンドゥー教、ユダヤ教のいずれかの宗教における食の禁忌について述べたものである。宗教名とカ～クとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 16

カ 豚や馬などの特定の動物や、ひれやうろこのない水産物など、食の規定に適合しない食物は食べられない。

キ 豚肉および特定の方法に基づく処理が行われていない肉を食べることや、飲酒が禁じられている。

ク 聖なる動物とされる牛を食べないだけでなく、不殺生主義から肉食をせず菜食主義をとる人も多い。

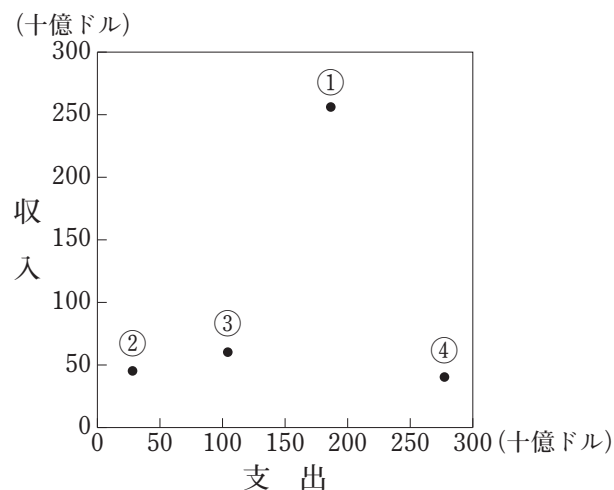
	①	②	③	④	⑤	⑥
イスラーム	カ	カ	キ	キ	ク	ク
ヒンドゥー教	キ	ク	カ	ク	カ	キ
ユダヤ教	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問3 北アフリカのオアシス集落について述べた次の文章中の(サ)・(シ)にあてはまる語句の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 17

北アフリカのオアシス集落にみられる家は、日干しレンガと土の壁でできており、屋根は平らである。部屋の窓は(サ)、内部は涼しい。住民は、通気性がよくて袖が(シ)衣服を着ることが多い。

	①	②	③	④
サ	大きく	大きく	小さく	小さく
シ	長い	短い	長い	短い

問4 次の図1は、世界のおもな国における観光収入と観光支出を示したものであり、図1中の①～④は、アメリカ合衆国、中国、ドイツ、日本のいずれかである。ドイツに該当するものを、図1中の①～④のうちから一つ選べ。 18



統計年次は2018年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版』により作成)

図 1

問5 次の説明文に該当する世界遺産に登録されている観光地がある国として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 19

ラリベラの岩窟教会群は、岩石をくりぬいてつくりあげた教会群である。12世紀から13世紀にかけて建造されたと推測されており、最も保存状態がよいとされる聖ゲオルギウス教会は十字架の形に掘り下げられている。

- ① イラン ② エチオピア
③ オーストラリア ④ ペルー

問6 日本における商業活動について述べた次のタ～ツの文について、正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

タ 一般に、大都市圏の住宅地のコンビニエンスストアより、地方の幹線道路沿いのコンビニエンスストアのほうが広い商圈を有する。

チ 都心部に立地する百貨店の地位が低下してきた背景には、日本の労働者の平均労働時間が長くなってきたことがあげられる。

ツ 通信販売の事業所の多くは、交通・情報網が発達している都心付近に大型倉庫を設け、宅配便を用いて出荷している。

	①	②	③	④	⑤	⑥
タ	正	正	正	誤	誤	誤
チ	正	誤	誤	正	正	誤
ツ	誤	正	誤	正	誤	正

問7 次の表1は、日本のおもな観光レクリエーションの施設数について、上位4都道府県を示したものであり、表1中の①～④は、映画館、海水浴場、ゴルフ場、スキー場のいずれかである。ゴルフ場に該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 21

表 1

	①	②	③	④
第1位	長崎県	兵庫県	長野県	東京都
第2位	千葉県	千葉県	新潟県	愛知県
第3位	新潟県	北海道	北海道	大阪府
第4位	福井県	栃木県	群馬県	埼玉県

統計年次は、映画館が2015年、その他が2016年。

(『地理データファイル2020年版』により作成)

第4問 次の図1を見て、ロシアに関する下の問い(問1～7)に答えよ。

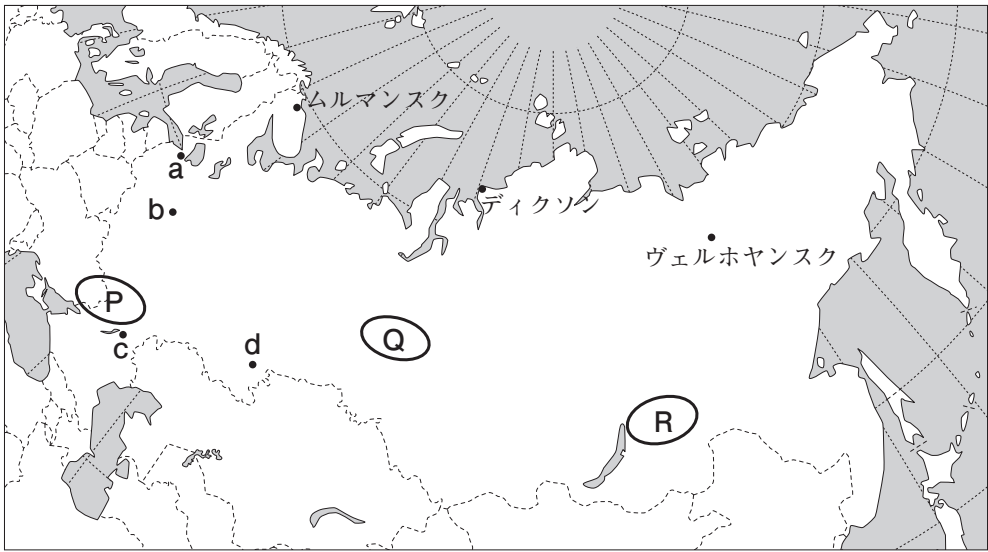


図 1

問1 次の表1中のア～ウは、図1中に示したディクソン、ヴェルホヤンスク、ムルマンスクのいずれかの地点における最暖月平均気温、最寒月平均気温を示したものである。地点名とア～ウとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

表 1

	最暖月平均気温 (℃)	最寒月平均気温 (℃)
ア	16.5	−44.7
イ	13.2	−9.6
ウ	6.0	−24.1

(気象庁資料により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
ディクソン	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
ヴェルホヤンスク	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
ムルマンスク	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問2 次のカ～クの文は、図1中のP～Rのいずれかの地域の自然環境と産業について述べたものである。カ～クとP～Rとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

23

カ 丘陵性の山脈に針葉樹林帯が形成されており、農業は盛んではない。

キ 湿地や森林が分布する低地のなかに、数多くの油田が分布する。

ク 黒土が分布する穀倉地帯で、小麦やヒマワリの栽培が盛んである。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	P	P	Q	Q	R	R
キ	Q	R	P	R	P	Q
ク	R	Q	R	P	Q	P

問3 次の①～④の文は、図1中のa～dのいずれかの都市について述べたものである。bに該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。なお、a～dは、ヴォルゴグラード、サンクトペテルブルク、マグニトゴルスク、モスクワのいずれかである。

24

① ロシアの首都であり、商業、金融業のほかハイテク企業の集積もみられる。

② かつてはロシア帝国の首都であり、人口規模は国内で2番目に大きい。

③ 古期造山帯の山脈の麓に位置し、地元の鉄山を基盤に鉄鋼業が発達している。

④ 大河川に面し、運河を通じて地中海にもつながる水上交通の要地である。

問4 シベリアの自然環境と生活について述べた次の文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。

25

シベリアを流れる大河川は冬季に結氷するが、上流部から氷がとけるため、中～下流域で①6～7月頃に洪水が発生することが多い。この地域の森林内の土壌は地表面に堆積する有機物の分解が遅く、②酸性で白っぽいポドゾルとなっている。この地域には高床式になっている集合住宅が多くみられるが、おもに③冬季の豪雪で建物が埋まらないための工夫である。地域開発に伴ってロシア系住民の割合が高まったが、北極圏などでは④アジア系の民族によるトナカイの遊牧もみられる。

問5 ソ連の崩壊に伴う経済と農業の変化について述べた次の文章中の(サ)・(シ)にあてはまる語句の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 26

ソ連が崩壊すると、市場経済化によって物価が大きく(サ)し、経済活動の縮小や失業者の増大といった問題が発生した。ソ連時代の国営農場などは改編され、穀物の多くは民営の大規模農場、野菜の多くは(シ)とよばれる別荘に付随する菜園などで生産されている。

	①	②	③	④
サ	上 昇	上 昇	下 落	下 落
シ	コルホーズ	ダーチャ	コルホーズ	ダーチャ

問6 かつてソ連を構成していた国々の多くは独立国家共同体(CIS)に加盟してロシアなどの相互協力関係を維持しているが、いくつかの国は CIS から脱退した。このうち、2009 年に CIS から脱退した国と、CIS から脱退したおもな理由の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

(脱退したおもな理由)

タ ロシアとはおもに信仰されている宗教が異なるため。

チ ロシアとの間で領土をめぐる対立がみられるため。

	①	②	③	④
国 名	カザフスタン	カザフスタン	ジョージア	ジョージア
理 由	タ	チ	タ	チ

問7 日本とロシアとの関係について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① ウラジオストクは、シベリア鉄道の始発・終着駅と日本海に面する港があることから、両国にとって重要な貿易拠点となっている。
- ② 両国の間には日本海にある竹島の領有をめぐる問題が存在しており、両国間の交流にとって大きな課題となっている。
- ③ 両国の協力によってサハリンに油田が開発されており、ロシアは日本にとって最大の原油輸入相手国になっている。
- ④ ロシアは、日本と EPA を締結して日本車に対する税金を撤廃しており、日本からロシアへの自動車の輸出が増加している。

第5問 次の図1を見て、東アジアに関する下の問い(問1～7)に答えよ。

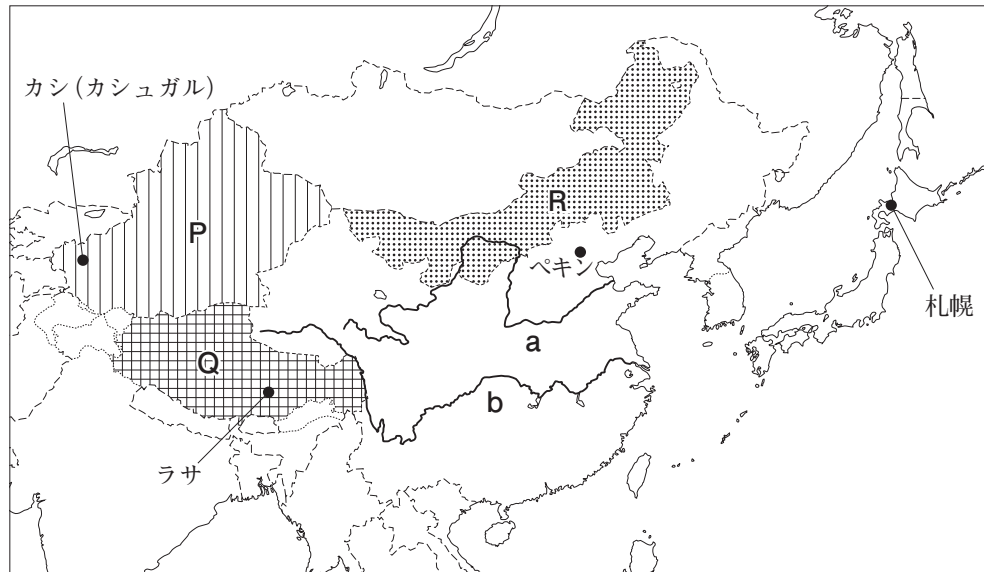


図 1

問1 次のア～エの文は、図1中のa・bの河川のいずれかについて説明したものである。aの河川に該当するものの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

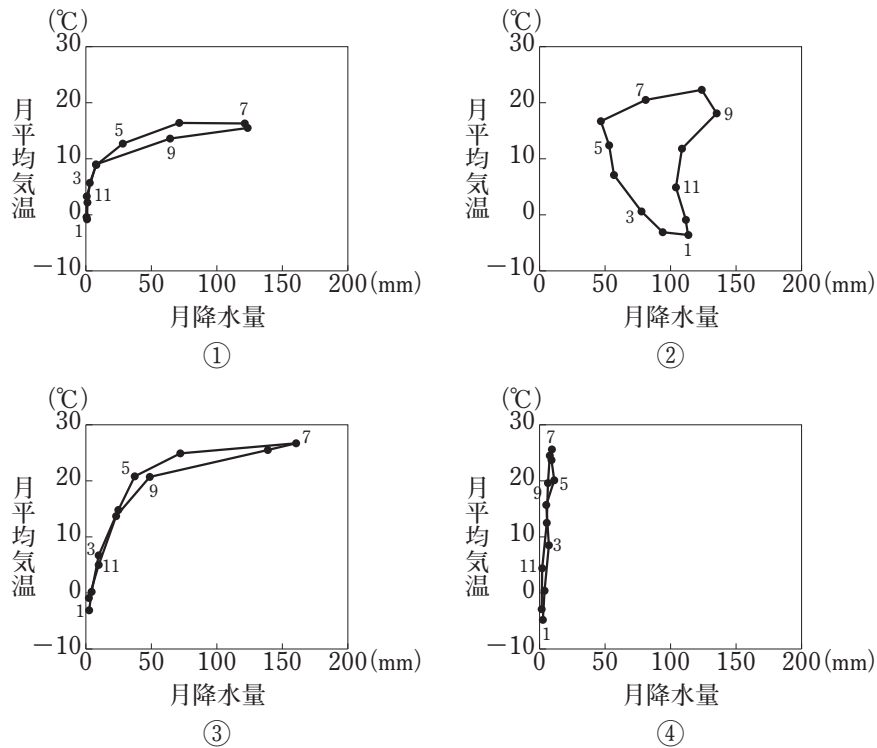
29

- ア 水量が豊富で、下流域にはクリークとよばれる水路が縦横に走る。
- イ 中流部に、貯水量と発電量が世界最大級をほこるダムが建設された。
- ウ 1990年代に、河口まで水が流れなくなる現象がみられたこともあった。
- エ 中流部でホワンツー(黄土)高原を貫流しており、土砂の運搬量が多い。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ① アとイ | ② アとウ | ③ アとエ |
| ④ イとウ | ⑤ イとエ | ⑥ ウとエ |

問2 次の図2中の①～④は、図1中に示したカシ(カシュガル)、札幌、ペキン、ラサのいずれかのハイサーグラフである。ラサに該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。

30



(『理科年表 2019』により作成)

図 2

問3 次の表1中のカ～クは、図1中のP～Rのいずれかの自治区の人口と漢族以外の人口割合を示したものである。カ～クとP～Rとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

31

表 1

	人口(万人)	漢族以外の人口割合(%)
カ	2,540	20.5
キ	351	91.8
ク	2,523	59.5

統計年次は、人口が2019年、漢族以外の人口割合が2010年。
(『データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版』により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	P	P	Q	Q	R	R
キ	Q	R	P	R	P	Q
ク	R	Q	R	P	Q	P

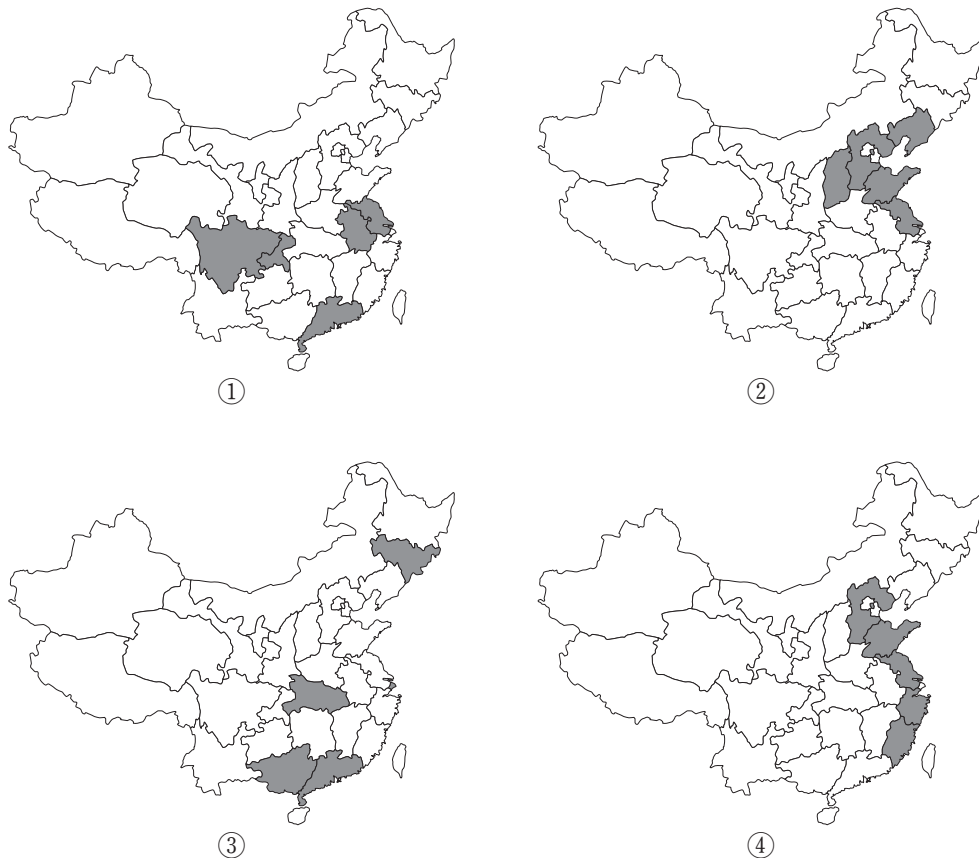
問4 中国では、1980年代前半に人民公社が解体されて生産責任制が導入された。それ以降の農業の変化について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 生産力が向上し、大豆やトウモロコシの輸出が盛んになった。
- ② 生産意欲が向上し、豊かな農家があらわれるようになった。
- ③ 豊かな農家が多く出現した一方で、都市部との貧富の差が拡大した。
- ④ 無理な農地の拡大によって環境問題が発生した地域もみられた。

問5 次の図3は、おもな工業製品について、中国国内の生産量に占める上位5省(直轄市と自治区も含む)を示したものであり、図3中の①～④は、化学繊維、コンピュータ、自動車、粗鋼のいずれかである。コンピュータに該当するものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。

33



統計年次は2019年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版』により作成)

図 3

問6 東アジアの国・地域における貿易相手国(2019年)について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 日本における最大の貿易輸入相手国は、中国である。
- ② 韓国における最大の貿易輸入相手国は、中国である。
- ③ 台湾における最大の貿易輸出相手国は、日本である。
- ④ 中国における最大の貿易輸出相手国は、アメリカ合衆国である。

問7 次の表2は、韓国、中国、日本、モンゴルの4か国について、いくつかの指標の値が上位の国から順に示したものであり、表2中のサ～スは、合計特殊出生率、1人当たり一次エネルギー供給量、1人当たり GNI の成長率のいずれかである。指標名とサ～スとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 35

表 2

	サ	シ	ス
第1位	中国	モンゴル	韓国
第2位	モンゴル	中国	日本
第3位	韓国	日本	中国
第4位	日本	韓国	モンゴル

統計年次は、合計特殊出生率が2018年、1人当たり一次エネルギー供給量が2017年、1人当たり GNI の成長率が2000～2018年。

(『世界国勢図会 2020/21年版』などにより作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
合計特殊出生率	サ	サ	シ	シ	ス	ス
1人当たり一次エネルギー供給量	シ	ス	サ	ス	サ	シ
1人当たり GNI の成長率	ス	シ	ス	サ	シ	サ

(地理の問題は終わり)